

事業名	第4回そば猪口アート公募展
実施期間	平成27年10月17日～11月15日
開催場所	安曇野高橋節郎記念美術館
実施内容	<p>「日本そば」は古来より日本人の食卓を彩り、今なお、私たちの日常的な食材として欠かすことができない存在です。日本全国に名物とされる「そば」は多々ありますが、信州安曇野の「そば」は全国的にも名高く、安曇野観光の目的として多くの人に親しまれています。</p> <p>わが国では「そば」を食べるための容器は、多彩に発展しています。とりわけ「そば猪口」は、そばを食べるに欠かせない日常的な雑器でありながら、美しい細工が施され、味覚とともに視覚を楽しませるものになります。</p> <p>このたびの公募展では、「そば」を食するに欠かせない什器である「そば猪口」に着目し、広く一般から自作の作品を募集しました。246名、295点の応募作品の中から、厳選した116点の「そば猪口アート」を紹介しました。</p>
参加者数等	参加者 1,255名



事業名	第2回安曇野FAカップU-9少年サッカー大会
実施期間	平成27年10月24日
開催場所	牧運動場
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市を拠点として活動する小学3年生以下の少年サッカー大会（塩尻市より1チームフレンドリー参加） ・3年生は、高学年と異はなり大会が少ないため本大会を実施し試合機会の提供及び他チームとの交流が主な目的。
参加者数等	参加者 8チーム 107人



事業名	第10回 豊科さわやか市民運動会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	590	509	参加賞、副賞等
	11	需用費	150	138	競技用具、事務用品外
	合計		740	647	
実施日	平成27年10月18日		会場	県民豊科運動広場	
実施主体	豊科公民館 豊科地域体育協会		課・事務局	豊科地域課	
趣旨・事業概要	<p>豊科地域の市民が一堂に会し、運動会を通じて体力や健康づくりの増進とともに地区公民館相互の交流と親睦を図る。</p> <p>【対象者 豊科地域の市民等】</p> <p>【参加人数 約2,500人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 豊科地域の25の地区公民館に参加者を募り、競技には幅広い世代が参加し、楽しめるよう競技種目の選考に留意しつつも競技の中には得点種目を設けて各地区公民館が勝敗を競い合えるよう工夫している。</p> <p>○成果・効果 競技を通じて市民の交流や親睦が図られ、健康づくりとともに地域づくりの一助になっている。</p> <p>○課題・今後の展望など 体育協会、地区公民館の体育部長及びスポーツ推進委員と実行委員会を組織し運営を行っているが、より責任分担が明らかな取組みを目指していく。</p>				
備考					



事業名	第10回 穂高地域市民運動会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	750	596	運動会景品、参加賞
	合計		750	596	
実施日	平成27年10月18日		会場	穂高東中学校校庭	
実施主体	安曇野市穂高地域市民運動会実行委員会		課・事務局	穂高地域課（穂高公民館）	
趣旨・事業概要	<p>穂高地域の市民が一堂に会し、スポーツを通しての市民同士の交流と親睦を深めるとともに、健康の増進を図る。</p> <p>【対象者 穂高地域市民】 【参加人数 1,500人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>区対抗の市民運動会として開催している。子どもから高齢者まで参加できる14種目を開催する。</p> <p>○成果・効果</p> <p>子どもから高齢者まで多くの市民の参加を得、交流と親睦が深まった。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>参加する区が減少（23区中、12区の参加）している。事業の目的、趣旨が薄れてきている。</p>				
備考					



応援席の様子（12区参加）



種目「ゴム長で得点ゲット」の様子

事業名	三郷地域市民運動会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	8	報償費	489	483	景品外
	合計		489	483	
実施日	平成 27 年 10 月 18 日		会場	三郷文化公園グラウンド	
実施主体	三郷地域市民運動会 実行委員会		課・事務局	三郷地域課（三郷公民館）	
趣旨・ 事業概要	<p>三郷祭事業の一環として、市民の体力の向上及び市民相互の融和を図るため実施する。</p> <p>【対象者 三郷地域の市民】 【参加人数 2,047 人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 一致団結リレー、二人三脚、大玉運び、保育園児リズム、マレットゴルフリレー、パン食競争、大縄跳び、お土産ひろい、小学生ダンス、逃げていく玉入れ、スポーツ少年団対抗リレー、男女混合リレー（計 12 種目）</p> <p>市民に配布するプログラムに「市制施行 10 周年記念」のタイトルを入れて周知するとともに、当日は会場に桃太郎旗を掲げた。</p> <p>○成果・効果 例年通りの盛況ぶりであった。</p> <p>○課題・今後の展望など 昭和 34 年から開催している三郷地域の伝統的な行事であり、今後も継続事業として開催していきたい。</p>				
備考					



大玉運び



パン食競争



男女混合リレー

事業名	堀金地域市民運動会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	460	447	運動会景品
	11	需用費	45	38	運動会競技用品
	合計		510	485	
実施日	平成 27 年 10 月 18 日		会場	堀金小学校校庭	
実施主体	安曇野市		課・事務局	堀金地域課（堀金公民館）	
趣旨・事業概要	<p>堀金地域の住民、家庭、学校が連携し、子どもから年配者までが一堂に会して世代を超えて触れ合い、健康と体力づくりを目的に、楽しみながら交流する。（毎年開催）</p> <p>【対象者 堀金地域住民】</p> <p>【参加人数 約 1,200 人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館・体育協会等と実行委員会を組織し、企画・運営した。 ・全 1 2 種目、地区対抗、スポーツ団体参加、各種団体参加、一般参加と幅広い参加者によって競技が行われた。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館や地域スポーツ団体が実行委員として広く運営に係り、「自分たちの運動会」を作り上げた。 ・幅広い団体・年代の参加による対抗競技・交流競技により、地域の一体化が熟成された。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より一体感を高めるため、参加者全員で行う競技を検討する。 				
備考					



開会式



堀金ギネスに挑戦



ダ・ダ・ダッシュでNo.1 (地区対抗リレー)

事業名	第10回 明科地域市民運動会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	400	343	運動会景品ほか
	11	需用費	50	14	運動会用消耗品代
	合計		450	357	
実施日	平成27年10月18日		会場	龍門淵公園運動広場	
実施主体	安曇野市		課・事務局	明科地域課（明科公民館）	
趣旨・事業概要	<p>地域住民がスポーツを通じて健康の増進と体力づくりを図り、地域内の世代を超えた交流と連帯意識を高める。</p> <p>今年度は記念事業と位置付け、競技種目・大会運営などの見直しを行い、競技採点方法や大会パンフレット様式などの検討を行う。</p> <p>【対象者：地区公民館（地域住民）】</p> <p>【参加人数：約1,200人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会運営に向け実行委員会を開催し、実施内容の計画や大会プログラム作成に係るレイアウト等の検討を行う。 ・地域住民が参加しやすい競技種目や参加資格の変更ほか、応援住民が見ていけるようになるような競技種目を企画、選択する。 ・大会終了後、アンケート等を通じて大会の反省を含めたより多くの意見を収集し、来年度以降の大会運営に役立てる。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技種目と参加資格の変更により、参加者の少ない種目がなくなった。 ・天候にも恵まれたが、昨年より多くの住民が参加して盛大に開催できた <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の高齢化や世代間の交流が進まない現状の中で、地区公民館内では参加者集めに苦労したり、場合によっては棄権となる種目も出てくる。 ・スポーツ大会も含め、チーム編成や参加者集めに役員の負担が大きくなる傾向にあり、住民が集まりやすい種目等を選択する必要がある。 				
備考					



プログラムNo.1 : かけっこ



プログラムNo.9 : つなひき



プログラムNo.11 : 加速リレー

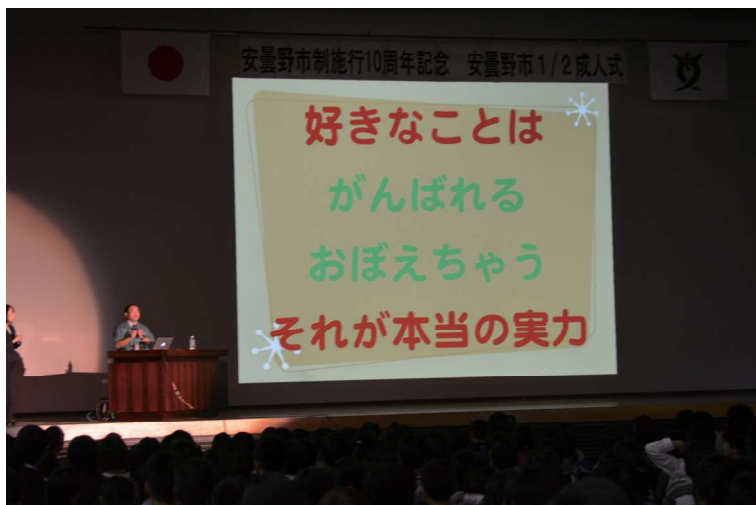
事業名	安曇野市1/2成人式				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	660	660	講師謝礼、看護師謝礼、講師土産
	11	需用費	5	5	演台用生花
	12	役務費	61	61	交通誘導警備
	13	委託料	1,183	1,162	土足シート設営、記念DVD制作
	14	賃借料	1,568	1,238	無線機、バス、音響、イス借上げ
	合計		3,477	3,126	
実施日	平成27年10月21日			会場	穂高会館 (体育館メインアリーナ)
実施主体	安曇野市・安曇野市教育委員会		課・事務局	生涯学習課	
趣旨・事業概要	<p>安曇野市制施行10周年記念事業として、平成27年度に10歳を迎える市内小学校4年生の児童を対象に、安曇野市の一体感の醸成、児童の地域への愛着を深めることを目的に開催する。</p> <p>市内各小学校で行われている1/2成人式は、10歳の節目に児童の成長を振り返り、保護者への感謝の気持ちを伝える内容が多いが、本事業は、未来を担う子どもたちが一堂に会して市歌を斉唱し、安曇野市の将来像(こんな市になってほしい)を発表することで、合併10周年の節目にあらためて安曇野市としての一体感を醸成する。</p> <p>また自らの夢や将来とともに自分が生まれ育った安曇野市の将来像を考える機会とすることで、故郷(安曇野市)への愛着心を育む。</p> <p>【対象者 安曇野市内10校小学校等4年生873人及びその保護者】 【参加人数 1,450人(児童・引率職員約900人、保護者472人、来賓50人)】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>【第1部】 開式のことば、市長あいさつ、安曇野市の将来像の発表、市歌斉唱 【第2部】 記念講演「夢を叶えるために」(講師 株式会社植松電機 専務取締役 植松 努氏)、未来への手紙、閉式のことば</p> <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市の将来像の発表 各学校においてクラスごと「安曇野市の将来像」を考えてもらい、発表の様子を事前に収録し当日VTRを上映した。生まれ育った市の良いところや守りたいものなどを考える良い機会となった。また発表に使用した模造紙を当日会場のロビーに、11/27～12/4の間は市役所1階東ロビーに展示し、多くの人に見ていただけた。 ・市歌 学校において事前に練習を依頼し、当日は約900人の児童が声を合わせ、市歌を斉唱した。市歌を市民に周知する良い機会となった。 ・記念講演 講演時間が65分と長時間ではあったが、後日学校で配付された「学年だより」などから、児童の心に残る話であったことが分かった。 また保護者からも「講演が良かった」との感想が多数寄せられ、大変好評であった。 ・未来への手紙 10年後の自分への手紙を一人ずつ書いてもらい、教育委員会で回収した。手紙は10年後、成人式の案内状に同封し児童に送る予定。当日はその内容をVTRにして上映した。なお手紙はロケットに入れ、教育長室隣の応接室において10年間保管する。 <p>○課題・今後の展望など</p> <p>10周年記念事業として開催したため、開催は本年度のみ。 今後の1/2成人式の開催については、各学校における開催に委ねるものとする。</p>				



市内10校小学校等
4年生が一堂に会す



市歌斉唱



記念講演

事業名	三郷地域市民ふれあいコンサート				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	100	88	三郷祭記念品、協力員役員謝礼
	11	需用費	33	33	プログラム印刷費
	合計		133	121	
実施日	平成27年10月24日		会場	三郷中学校講堂	
実施主体	三郷地域市民ふれあい コンサート実行委員会		課・事務局	三郷地域課（三郷公民館）	
趣旨・ 事業概要	<p>三郷祭事業の一環として、市民が音楽にふれあうことで市民相互の融和及び精神的豊かさの向上のため実施する。</p> <p>【対象者 三郷地域市民】 【参加見込人数 528人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 三郷地域で活動する音楽団体や、三郷小学校、中学校の各吹奏楽部と合唱部が日々の活動の成果を発表した。(計13演目)</p> <p>来場者に配布するパンフレットに「市制施行10周年記念」のタイトルを入れて周知するとともに、当日は会場に桃太郎旗を掲げた。</p> <p>○成果・効果 例年通りの盛況ぶりであった。</p> <p>○課題・今後の展望など 地域密着型の手作りコンサートとして定着し好評であるため、今後も継続事業として開催していきたい。</p>				
備考					



マリンバサークルの演奏



三郷小中学校吹奏楽部の合同演奏

事業名	穂高総合体育館竣工記念 bjリーグ（プロバスケットボール）公式試合開催				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	8	謝礼	300	300	招致謝礼
	11	需用費	26	15	bjリーグ試合チラシ印刷
	13	委託料	101	0	10周年記念看板 (記念式典のものを代用)
	合計		427	315	
実施日	平成27年10月24日、25日		会場	穂高総合体育館	
実施主体	信州ブレイブウォリアーズ		課・事務局	生涯学習課	
趣旨・事業概要	<p>○市制施行10周年と穂高総合体育館の竣工記念として、プロバスケットチームの公式試合を行い、市民に3月改修工事が終了した穂高総合体育館を紹介した。</p> <p>○プロバスケットの試合を生で観戦することにより、多くの子ども達をはじめ市民に夢や感動を与えた。</p> <p>【対象者 市内外者】 【参加人数 約2,700人】</p>				
実施状況	<p>市制施行10周年を記念し、プロバスケットbjリーグ「信州ブレイブウォリアーズ」の今季ホームゲーム開幕戦が、10月24日（土）と25日（日）リニューアルオープンした穂高総合体育館で開催され、2日間で約2,700人が訪れた。</p> <p>初日となった24日には市内ミニバスケットチームなどの試合や「よさこい演舞隊ソーレあづみの」の皆さんによる威勢の良い踊りも披露され、会場を盛り上げた。信州ブレイブウォリアーズの公式戦は市内初開催。</p> <p>目の前で繰り広げられるプロ選手の迫力あるプレーと、華やかな会場の演出に大きな歓声が送られていた。</p>				
備考					



手に汗握る攻防（写真上）、応援からは大きな声援が注がれた（写真左下）
試合開始前にはよさこい踊りが披露された（写真右下）

事業名	安曇野ミュージアムギャラリートークリレー2015				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	合計		0	0	
実施日	平成 27年 10月 24日～ 11月 8日			会場	市内美術館・博物館
実施主体	安曇野市		課・事務局	文化課	
趣旨・事業概要	<p>普段それぞれの施設で行っているギャラリートーク（スタッフが施設や収蔵資料に関する解説・紹介等を行うこと）を、日時を決めて行うことで、来館者が連続していくつもの施設でギャラリートークを体験できるようにした。</p> <p>施設：貞享義民記念館、臼井吉見文学館、安曇野市豊科郷土博物館、安曇野市豊科近代美術館、田淵行男記念館、井口喜源治記念館、安曇野高橋節郎記念美術館、碌山美術館、安曇野ジャンセン美術館、安曇野市天蚕センター、安曇野山岳美術館、絵本美術館 森のおうち、穂高郷土資料館</p> <p>【対象者 来館者】 【参加人数 1,241人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 来館者に対しギャラリートークを行うことで、館や収蔵資料に対する関心・理解を深める機会を提供した。また他館の紹介を同時に行うことで、地域の美術館・博物館に興味を抱いてもらう機会とした。</p> <p>○成果・効果 参加人数は前年と同程度であった（H26年度参加人数：1,268人）</p> <p>○課題・今後の展望など 全体の参加者数が伸び悩んでおり、これを増加させる工夫が求められる。また、参加者のうち約40%が市外、約50%が県外からの観光客であることから、市民の参加者を増やす工夫が求められる。</p>				
備考					



ギャラリートークの様子（豊科郷土博物館）



ギャラリートークの様子（豊科近代美術館）

事業名	堀金文化祭				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	303	295	出展者記念品、協力者謝礼
	11	需用費	80	0	
	合計		383	295	
実施日	平成 27 年 10 月 30 日 ～11 月 1 日			会場	堀金総合体育館
実施主体	安曇野市			課・事務局	堀金地域課（堀金公民館）
趣旨・事業概要	<p>堀金の芸術文化活動の成果を広く披露する総合発表の場として、また、住民相互の交流・親睦の機会を提供するために開催。（毎年開催）</p> <p>【対象者 堀金地域住人】</p> <p>【参加人数 3,000 人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化協会団体、地区公民館、小中学校・保育園、福祉施設などのほか、一般の芸術愛好者からの出展。 ・31 日には小中学校吹奏楽等による「まどいの広場」、芸術発表の「芸能祭」を開催。 ・公民館女性部協力による料理のふるまいや、社会福祉協会と連携しての独居高齢者の芸能祭招待を行った。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の展示には地区公民館にも協力を得ており、また芸能祭には出演者による実行委員会主導で運営するなど、地域・参加者一体となつての運営ができた。 ・文化芸術の日頃の成果の発表の場となつた。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化展示出展者、芸能祭出演者が固定化しているため、新規団体等の参加を求める。 				
備考					



文化祭・保育園児作品



文化祭・地区公民館作品



芸能祭・常念太鼓保存会

事業名	第11回 安曇野市豊科地域文化祭				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	389	133	選者・運営協力者謝礼、参加記念品
	11	需用費	170	57	事務用品、周知チラシ作成
	13	委託料	175	175	展示会場設営委託
	14	使用料	223	88	パイプテント借上げ
	合計		957	453	
実施日	平成27年10月30日～ 11月22日			会場	豊科交流学習センターほか
実施主体	豊科公民館 豊科地域芸術文化協会		課・事務局	豊科地域課	
趣旨・ 事業概要	文化・芸術分野を学び、研鑽する中で一年間の活動成果の発表の場として、旧町時代から豊科地域芸術文化協会と豊科公民館が共催し開催されてきた。 【対象者 豊科地域を活動の拠点とする文化・芸術等の愛好家など】 【参加人数 約1,500人（出展者、発表者等）】				
実施状況	○具体的な内容・様子 美術・工芸・書道等一般作品展示、華道展、茶会、菊花展、芸能発表会、短歌大会、俳句大会など ○成果・効果 活動成果の披露とともに出展者や芸文協会員間の交流にも貢献している。 ○課題・今後の展望など 芸文協会員の高齢化、加入会員の伸び悩み				
備考					



事業名	第11回 安曇野市明科地域文化祭				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	50	50	文化祭協賛謝礼（明科芸文協）
	08	報償費	110	89	文化祭記念品ほか
	11	需用費	10	7	消耗品費
	合計		170	146	
実施日	平成27年10月31日、11月1日		会場	明科公民館	
実施主体	安曇野市		課・事務局	明科地域課（明科公民館）	
趣旨・事業概要	<p>地域内文化芸術団体が協力して、独自に文化祭を開催し、日頃の活動成果を地域住民に広く知らせることにより、文化芸術活動を推進する。</p> <p>今年度は記念事業と位置付け、創意工夫した魅力的な文化祭を開催することにより、会員の高齢化や固定化に悩む芸術文化協会への積極的な会員の加入促進を図る。</p> <p>【対象者：文化サークル及び地域住民】</p> <p>【参加人数：約 1,350人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭開催前後に文化祭や芸術文化協会のPR活動を行い、地域住民に活動内容等について周知する。 ・芸文協以外の団体・サークル・個人の展示や舞台発表の場を設ける。 ・PR活動を通じて、新規参加者（地区公民館棟）の拡大を図る。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前PR活動の効果で、作品展示や舞台発表に多くの人が参加した。 ・芸能発表会の他に特別企画「お楽しみサロン」を企画、芸文協以外の団体・サークル・個人の参加があり、来場者にも好評だった。 ・小学校・中学校及び高校からも出展や舞台発表に参加してもらった。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協賛している明科芸文協会員の高齢化や固定化がなかなか解消されない状況にあり、このままでは芸術文化活動の推進が難しい。 ・例年の展示・舞台発表の他に魅力ある企画をたて来場者の増加を図る。 				
備考					



お楽しみサロン「明科音頭」 明科音頭愛好会



お楽しみサロン「獅子舞奉納」 押野獅子舞保存会



芸能発表会「金管バンド演奏」 明南・明北小学校合同

事業名	安曇野市合併10周年記念「ふるさと再発見リレーウォーク」				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	11	需用費	679	111	参加者資料、昼食原材料費及び消耗品
	12	役務費	65	41	参加者保険料
	13	委託費	179	56	送迎バス運転業務委託
		合計	923	208	
実施日	平成27年10月31日 平成27年11月3日		会場	市内	
実施主体	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団 安曇野市		課・事務局	地域づくり課	
趣旨・事業概要	<p>安曇野市内外の皆さんが、2日間に分けて安曇野市内を散策し、地域の資源の再発見と相互の交流を図る。このことから、安曇野市の一体感の醸成を図るとともに、観光振興や市民の健康づくりに寄与する。</p> <p>【対象者 市内外】 【参加人数 延べ82人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>市役所本庁舎、各支所を基点に、事前に設置したチェックポイントを巡り、各地の魅力に触れながら散策する。また、昼にはぬかくどで炊いたおにぎりを味わう。</p> <p>(1日目)</p> <p>1日コース：明科支所→穂高支所（昼）→堀金支所（約14.4km） 半日コース：穂高支所（昼）→堀金支所（約6.8km）</p> <p>(2日目)</p> <p>1日コース：堀金支所→三郷支所（昼）→本庁舎（約12.6km） 半日コース：三郷支所（昼）→本庁舎（約6.7km）</p> <p>○成果・効果</p> <p>同様の事業経験が豊富なNPOと協働により開催することで、NPOのもつノウハウや技能を活用しながら、市の魅力を効果的に周知し、また、健康増進に寄与することができた。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>次年度以降は、NPOがさらなる自立により、実施することとなる。</p>				
備考					



(NPO の説明を熱心に聞き入る参加者)



(安曇野の心地よい秋風を感じながら散策しています)